

沖縄の水源開発

福地ダム建設を中心に

1969年 7月



琉球水道公社



IA④
SK0075
=企業局=

水道公社の水資源開発の概況

琉球水道公社は、沖縄の経済発展、住民の生活水準の向上、急激な人口増加、都市集中化、上水道施設の建設普及に伴う水需要の増大に因ずるため、2,000年を目途とする水需要を推定し、1962年に、抜本的な基本計画を策定し、未来へのビジョンをもって沖縄の水問題の解決に取り組んできました。

水道公社は、1967年以来、ばく大な資金を投じて北部水源（大宜味村大保川、平南川、羽地村源河川、久志村大川、宜野座村漢那川の各河川の表流水の活用）の開発を行なうとともに、水道施設の拡張、強化をすすめてきたが、年々増大する住民の水消費量は北部水源開発によって得られる水量をはるかにしのぎこれに追いつかない現状であります。

現在（1969年7月）全島統合上水道施設は1日平均4,900万ガロン（約18万5,000トン、泊浄水場の生産量を含む）の浄水を生産し、その約3分の2は民間消費量となっています。民需要のうち、約50パーセントは那覇市の消費量で、残りをコザ市、宜野湾市、具志川市、浦添村を含む18ヵ市町村が消費しています（参照別表1, 2, 3）。したがって、水道公社では約1,200万ドルの資金で東村福地川にダムを建設し、水量を確保すべく力を注いできたが、このダムは、1972年にしか完成されないの間増大しつつある住民の水需要を満たすため具志川市における地下水源開発も行なっております。

狭隘な沖縄では、河川表流水や地下水だけでは必要水量の確保はむずかしく、どうしても北部山岳地帯の地形を利用したダムによる大規模な貯水がなされなければなりません。特に1970年頃からは、那覇市および他の市町村に於ける下水道の普及に伴い水の需要の増大が予想されます。

水道公社は既に中部に瑞慶山ダム（貯水量約227万トン）、天願ダム（約125万トン）を保有していますが、福地ダムは貯水量

約3,670万トンで前記二つのダムとは桁違いに大きい規模のものであります。

福地ダム建設工事の概要

福地ダムの建設工事は次のように第1期、第2期に分けて行われます。

1. 第1期工事

1. 工事期間予定

1969年7月着工、1970年3月竣工

2. 工事内容

- (1) ダム工事現場に通ずる道路の建設
- (2) 取水トンネル建設
- (3) 分水トンネル建設
- (4) 採石場、野面の設定と運営
- (5) 岩硝積みテスト工区の設置
- (6) 以上に付帯する掘鑿、盛土、整地等の工事

2. 第2期工事

1. 工事期間予定

1970年3月着工、1972年3月竣工

2. 工事の内容

- (1) 岩硝堰堤（ロックファイルダム）
これは、岩硝を積み上げるダム本体の工事、ダム工事の主体です。
- (2) 余水吐
貯水地が満水した後、余剰水を溢れさせる為の施設、その位置は現在検討中です。
- (3) ダム施設管理建物
将来、ダム完成後、取水その他ダム施設の運営操作をする建物。

(4) 仮設分水ダム

工事中、川の水を分流させるためにはコフファードムと称する仮設ダムが必要です。

(5) 以上に付帯する諸工事

福地ダムの第1期工事は既にアジア アメリカーン建設会社と総工費約142万4,000ドルで契約され7月16日着工される運びとなりました。

なお、福地ダムに関するその他のデータは次の通りです。

1. 位置

東村福地川河口から約2軒上流、川田部落の北約1.6軒

2. 集水面積

12.3平方哩 (約32平方軒)

3. 余水吐高さにおける貯水地の長さ、約6.4軒、面積1.7平方軒

4. 余水吐高さ (貯水池の満水位の水面の高さに同じ)

海拔約82メートル

5. 岩硝堰堤 (ロックワイルダム) : 約138万立方メートル

6. 堰堤 (ダム) の高さ : 海拔約89メートル

7. 予想取水可能量 : 1日平均約12万5千トン

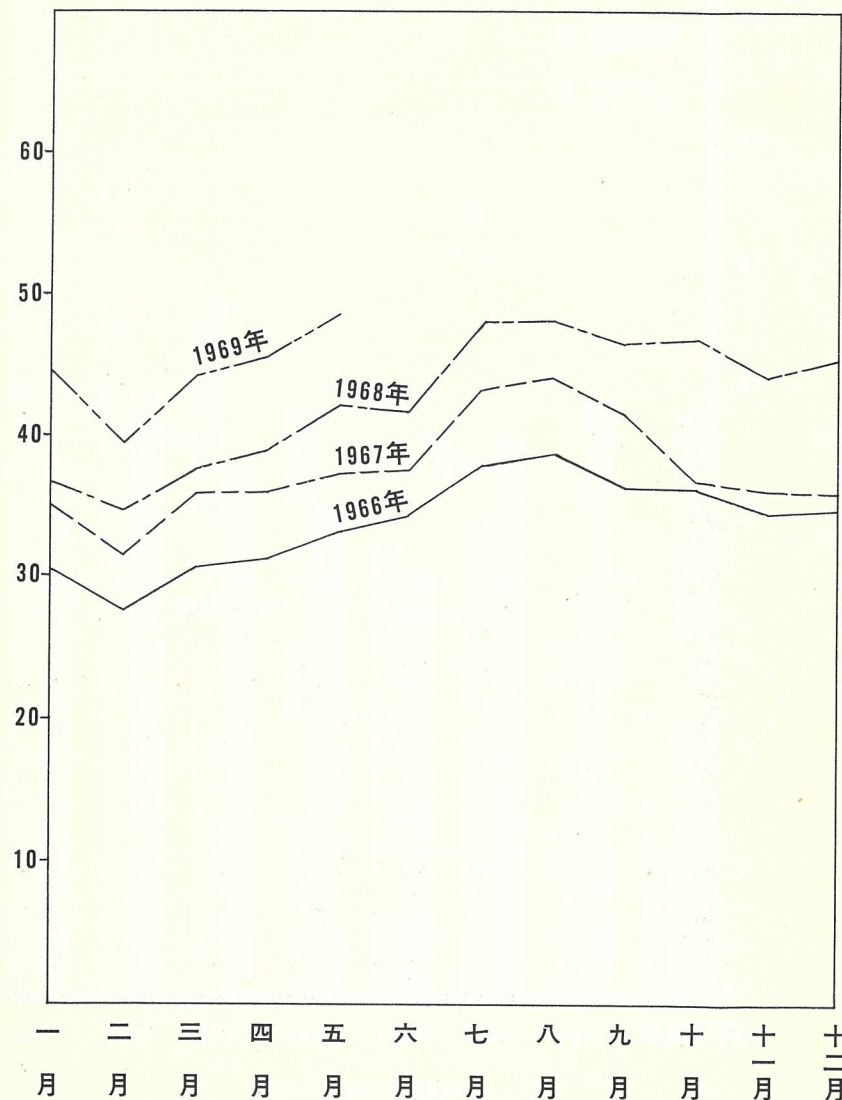
琉球水道公社の責務は、住民の福祉、経済発展につながる水需要を満たすことであり、未開発水源を開発して全住民に分ち合う治水政策こそ現在沖縄において最も必要とされているものであります。

福地ダム建設の第1期工事が順調に始められる運びとなったことを心から喜ぶとともに、東村および大宜味村当局、議会、関係地主ならびに村民の皆さまの温いご理解とご協力、ご支持に対し深く感謝申し上げます。深刻化していく沖縄の水問題解決に対する住民各位のより一層のご理解とご協力を切に願うものであります。

別表1 全島統合上水道

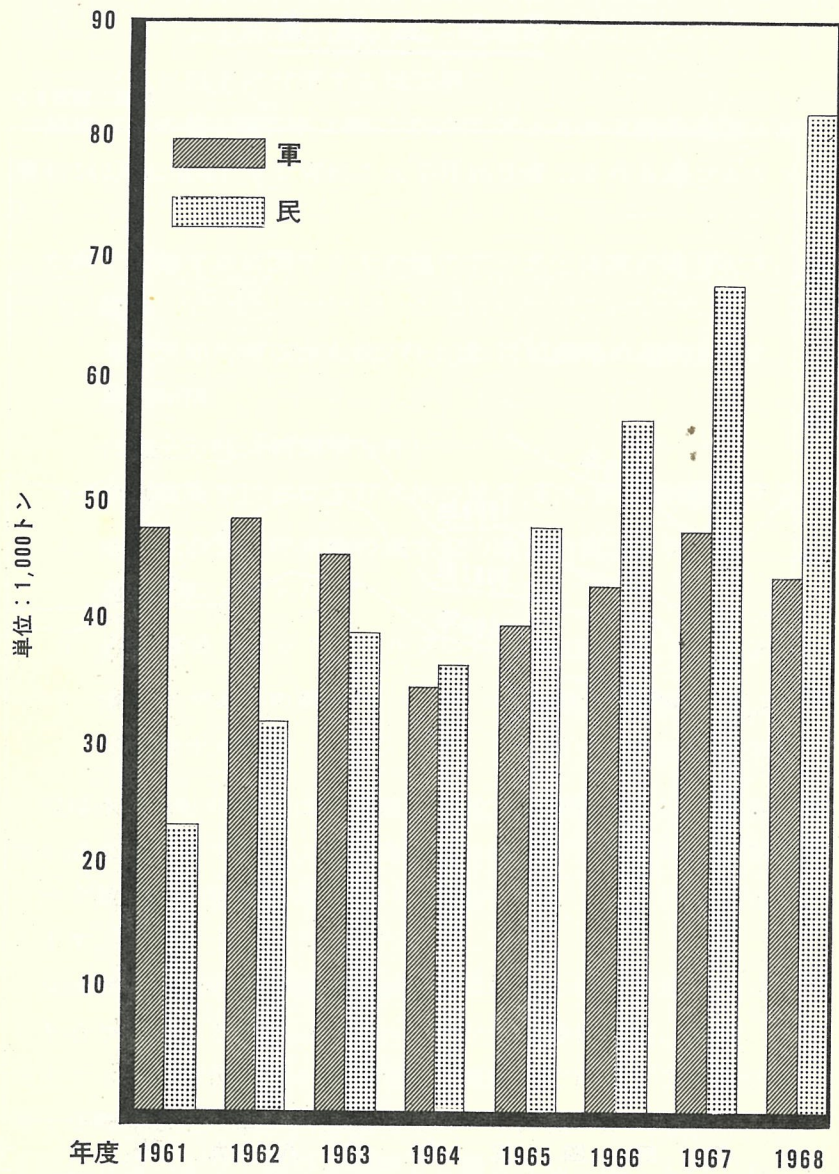
月別生産量

単位: 10万トン



別表 2

統合上水道 1 日平均使用水量



(那覇市生産量含む)

別表 3

公社給水量 (民間)

68会計年度

